



新型のノロウイルス流行に警戒を！

激しい嘔吐や下痢を引き起こすノロウイルスの新型が確認され広がりつつあります。川崎市の調査で、発生した食中毒事例を含む感染性胃腸炎患者から、ノロウイルス「GⅡ・17」が変異した新型のウイルスと分かったようです。多くの人は、新型ウイルスに免疫がないため発症してしまいます。ウイルスの検出数は、2015年1月頃から徐々に増加しており、国内では川崎市以外に長野県や栃木県、大阪府等でも確認され、海外でもアジアを中心に米国や欧州で報告されています。

今年は、例年より寒さの到来が早いようです。抵抗力の弱い高齢者や障害者、乳幼児が集団生活を営む保育園や幼稚園等の施設、医療機関、学校等では、集団感染につながる危険性がありますので、流行前からの予防対策を徹底しましょう。

《ノロウイルス予防対策》

- 正しい手洗い（つけない）
- 嘔吐物・下痢便の適切な処理（広げない）
- 清潔な調理（持ち込まない）
- ウイルスを殺すために加熱調理をする



【お知らせ】 ～社会福祉施設等関係職員の方へ～

毎年恒例の『感染症・食中毒対策研修会』研修会を11月に開催します。

詳細については、改めて御案内させていただきます。

今年も、利用者や職員の生命を守るために、感染症の予防法や拡大防止法を確認しましょう！！

野鳥の監視体制における全国の対応レベルが強化！

韓国のあひる農場で、高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の発生が確認されました。国内ではこれから本格的な冬場の飛来シーズンを迎えることを踏まえ、9月24日に野鳥監視体制における全国の対応レベルを、レベル1からレベル2に引き上げました。（レベル2では、死亡野鳥の調査を1羽以上から実施します。）

当該ウイルスは、野鳥から人へ感染した事例はなく、日本での発生は確認されていませんが、鳥インフルエンザウイルスの感染が濃厚な接触による人への感染事例も報告されていることから、野鳥との接し方について以下の点を御周知ください。

《野鳥との接し方》

- 野生動物は、素手で触らない。同じ場所でたくさんの野鳥等が死亡していたら、市町等に連絡する。
- 野鳥等野生動物の排泄物等に触れた後には、手洗いとうがいをする。
- 野鳥の糞が靴の裏や車両につかないよう、近づきすぎない。靴底についた場合は、必要に応じて消毒する。
- 不必要に野鳥を追い立てたり、つかまえようとすることは避ける。

福井県感染症発生動向調査速報

（第36週 H27年8月31日～第39週 H27年9月27日）

- 2類：結核 11名(1名)
- 3類：腸管出血性大腸菌感染症 3名(0名)
- 5類：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1名(0名)、
梅毒 3名(0名) *（ ）内は若狭管内の発生

【発信者】 若狭健康福祉センター
地域保健課 辻・宮下

TEL：0770-52-1300 FAX：0770-52-1058

メール：w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

※ご意見ご感想をお待ちしています。